

知床世界自然遺産地域科学委員会地元報告会について

<開催目的>

- ✓ 科学委員会と地元住民との交流、意見交換の機会を設ける。
- ✓ 地元住民に世界遺産の価値や保全のための取組を紹介し、遺産の保全管理に関心を持ってもらう。

<来年度以降の実施方針>

今年度の開催は、地元で行われる科学委員会の日程（7月23日）に合わせたため、地元観光業者、漁業者等が参加しづらい日程となってしまった。また、斜里町はお祭りの前日の開催となってしまう、両町ともに参加者は少数であった。そのため、来年度以降は以下の方向性にて地元報告会の実施を検討する。

科学委員会とは独立して開催する。

科学委員会とは独立させ、秋から冬にかけての地元が参加しやすい日程を中心に選定し、実施する。講演をお願いする委員も1名程度とし、科学委員会と独立させることにより、例えば午前中に野外での観察会、夜に一般向けの講演といったプログラムも可能となる。

地元の学校等との連携を図る。

小中学校、高校における総合学習の時間等の活用、少年団（ウトロ側）や知床キッズ（羅臼側）との連携を検討する。その他、ガイド向けの専門的な講演会など、より興味を持ってもらえるような企画を検討する。

名称の変更

「科学委員会地元報告会」という名称ではなく、より地元に興味を持ってもらえるような名称に変更する。